令和４年度事業報告

（令和４年４月１日から令和５年３月３１日まで）

令和４年度の我が国の社会経済状況は、ウィズコロナの下で、社会経済活動や国民生活の正常化を目指す中で、コロナ後の新しい社会の開拓をコンセプトとする新しい資本主義を実現するなど各種政策の効果により、景気が持ち直していくことが期待されています。

新型コロナウィルス感染症による厳しい状況も緩和される中、個人消費や設備投資に持ち直しの動きがみられ、雇用情勢についても、求人等に持ち直しの動きもみられます。

当センターでは、こうした社会背景のもと、高年齢者のニーズに応じた多様な就労の機会を提供しております。

当センターの現状を見ますと、従来型の請負事業だけではなく労働者派遣事業（シルバー派遣事業）について積極的に対応し、受注の確保・拡大や就業への勧誘に取り組みました。その結果、労働者派遣事業の契約金額は、８５，３８６千円、受注件数は４７件となり、県内でも昨年に引き続き上位に位置しました。

また、請負の契約金額は、１５３，８９２千円となり、前年度比１０３千円、０．７％の増、就業実人員は、２９１人で２９人、１０．１％の減となり、受注件数は２，０６７件で８件、０．４％の減となりました。

なお、会員数につきましては、全国的に会員数の減少傾向が続く中で、会員の拡大への取り組みを推進してまいりましたが、３月末の会員数は、男性２５１人、女性１３３人 、合計３８４人と前年度と比べて、２２名の減となりました。

今後、会員拡大については、喫緊の課題として女性を重点とした入会促進と併せて多様な就業ニーズに対応した就業先の開拓や退会者の抑制に取り組んでまいります。

一方、会員の就業途上・就業中の事故については、他のシルバー人材センターに比べて少ない件数ではありますが、依然として発生しており安全な適正就業についての取り組みに課題を残すところとなりました。

令和４年度も白岡市をはじめとする関係行政機関、企業、事業所や個人の皆様から大きな支えをいただくとともに、会員の皆様の御尽力により、当センター事業の推進と地域社会への貢献が図られたものと認識しております。

以下、令和４年度の具体的な事業内容について御報告いたします。

1　安全就業と適正就業の徹底

安全就業は事業運営の基本であり、作業の安全と無事故を目指しましたが、残念ながら物損事故４件、傷害事故３件が発生しました。

(1)　安全管理委員会を開催するとともに、安全管理委員会委員及び職員による屋外の就業現場への安全就業巡回パトロールを１０月に３日間で１９か所実施し、安全防具の使用及び機具の点検などを確認・指導しました。

(2)　令和４年度の契約については、適正就業を徹底するために契約内容の点検を実施し、法令を遵守した適正就業を推進し、安心して就業できる環境づくりを図りました。

(3)　職群班等の講習会等については、草刈講習会、接遇研修、交通安全講習会及び認知症予防講話を実施いたしました。今後におきましても、機会をとらえて講習会等を実施して安全・適正就業を促してまいります。

(4)「事務局だより」を１１回発行し、安全就業の呼びかけを行うとともに、新型コロナウイルス感染予防などを周知しました。

2　会員の増強及び就業機会の拡充

(1)　市の広報紙にセンターの会員募集記事を掲載するとともに、当センター独自に企画した「会員拡大キャンペーン」のパンフレットを市内の世帯に配布し会員を募りました。

(2)　入会説明会を毎月２回開催し、センターの概要について説明し、シルバー人材センターへの入会を勧めました。

(3)　未就業の会員については、「事務局だより」へ就業案内を掲載するとともに、未就業会員への相談会を１２月と１月に延べ４回開催し、就業機会の提供に努めました。

3　独自事業の拡充

(1)　刃物研ぎを実施し５９件、９７丁の実績となり昨年の５６件、１１２丁を下回る結果となりました。

(2)　おさらい教室については、小学生英語教室、中学生英語教室、中学生数学教室と共に積極的な宣伝活動を行い５２名の児童・生徒を指導しましたが、昨年の６３名を下回る結果となりました。

(3)　「大人の英会話教室」については、４名の方が受講して日常生活で役立つ英語を楽しく学べるような講座としました。

4　組織活動の推進

(1)　理事会

理事会を１２回開催し、定時総会に付議する重要議案の審議のほか、令和４年度事業の実施状況及び予算の執行状況、入会承認、規程の改正など事業の円滑な運営に努めました。

(2)　部会活動

ア　総務財政部会

収支予算及び決算の審査並びに事業の企画等、理事会に付議すべき案件の審議を実施しました。

イ　広報調査部会

「事務局だより」やチラシの発行及び市広報紙へ会員募集記事の掲載などを実施しました。

ウ　事業部会

安全就業について検討を行うとともに、就業機会の拡大について協議しました。

(3)　不定期に発行する「事務局だより」の内容を充実し、地域班を通して配付し、連絡体制の強化と会員相互のコミュニケーションを図るとともにセンター事業の円滑な運営に努めました。

5　研修・講習事業等の実施

(1)　除草の講習会では実際に刈払機を使用して実施し、安全に関する知識の向上を目指しました。

(2)　いきいき埼玉主催の「安全就業推進会議」に参加し、安全意識の向上を図りました。